

2016年3月25日



名古屋商工会議所 都市マネジメント委員会・投資環境委員会
合同シンポジウム 講演

リニアが変える名古屋圏の地域構造

～11年後に浮かぶ都市、沈む都市はどこか～



Culture & Human Resources

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

名古屋学院大学 現代社会学部

江口 忍

リニア開業が名古屋圏(の地域構造)にもたらす「4つの変化」

①「東京が近くなること」による変化

- ・東京へのストロー現象



ここだけ切り取れば
名古屋にマイナス

②「当面名古屋がリニアの終端地となること」による変化

- ・関西・西日本へのゲートウェイ化



関西・西日本との
結びつきが強まる

③「名駅が発展すること」による変化

- ・駅西の発展



「東高西低」是正の
きっかけに

- ・名駅と栄の勢力変化

- ・周辺都市から名駅へのストロー



④「リニア以外の交通インフラの整備・ 変容」に伴う変化



周辺都市に
大きな影響

“名駅ビッグバン”は止まらない

“名駅ビッグバン”の背景

1. 国鉄民営化によるJR東海の誕生
2. 名駅と栄の後背人口の違い
3. 「栄中心主義」に染まった地元資本の危機感不足
4. 名古屋経済の中心だった「東海銀行」の消滅

↓

タワーズ成功で名駅が持つポテンシャルが明らかに

↓

2027年に向けて名駅への民間投資は止まらず

“劣化”する栄

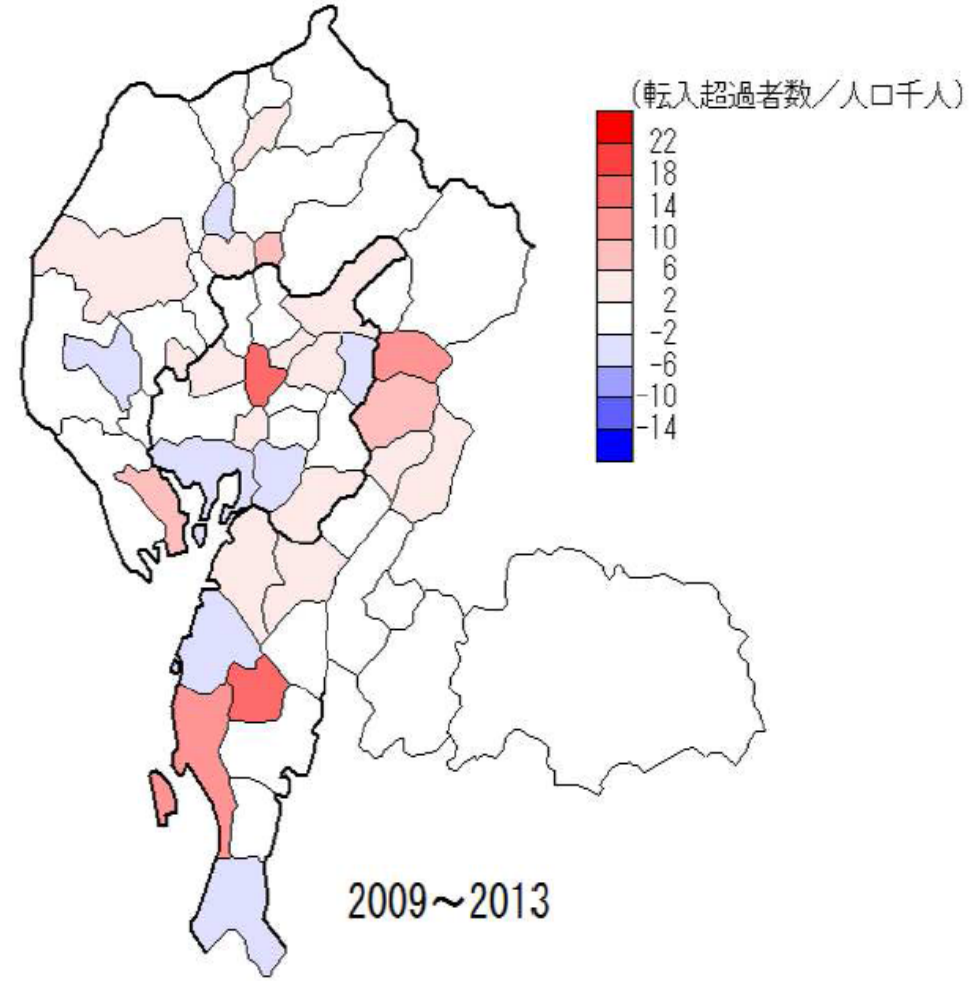
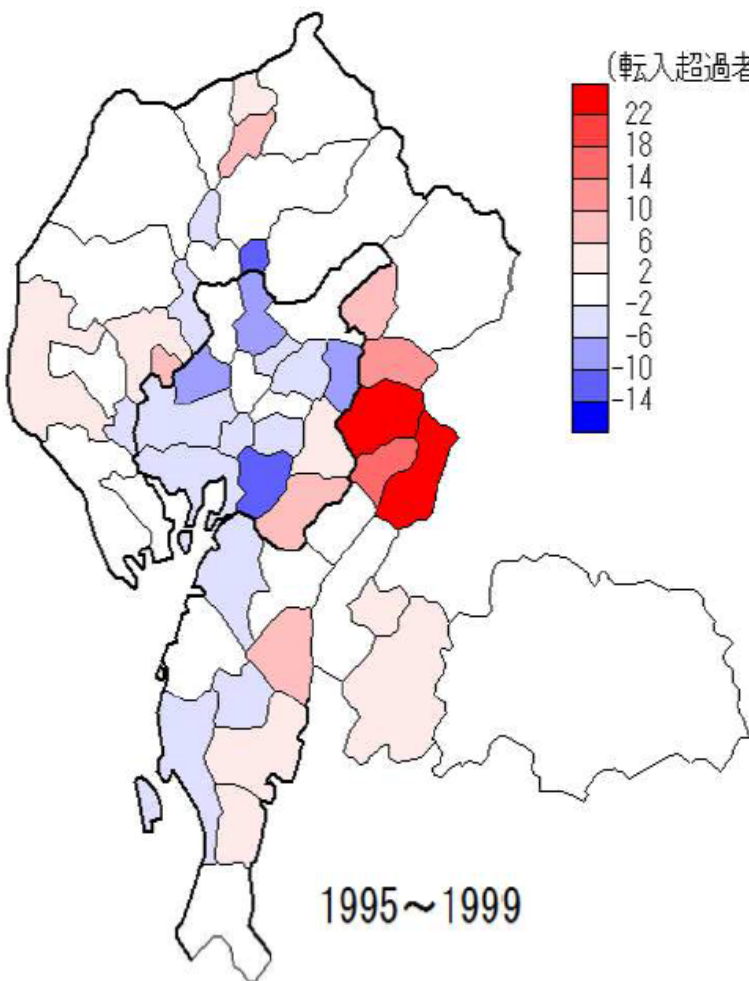
- ◆ 商業地としての劣化
- ◆ オフィス街としての劣化
- ◆ 後背地域（栄に便利な便利なエリア）の劣化

ブランドカ・プレステージの劣化

民間投資が入らない

名駅の発展(栄の衰退)は周辺都市の人口移動にも影響を及ぼす

【愛知県内の名古屋市通勤率5%超市町村の人口千人あたり転入超過者数】



【人口千人あたり転入超過者数 ～ 愛知県内全市区（5年間平均）】

名駅の発展は周辺都市にも影響を及ぼす

	1990	1995	2000	2005	2010		1990	1995	2000	2005	2010
	□ 1994	□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014		□ 1994	□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014
愛知県	▲ 0.1	▲ 0.1	0.7	2.1	1.2	□□□	0.4	▲ 2.7	▲ 1.3	2.0	▲ 2.6
名古屋市	▲ 6.1	▲ 2.4	0.2	2.4	2.0	□□□	2.9	4.3	2.6	4.5	2.4
□□□	▲ 14.7	▲ 3.7	3.9	6.4	6.6	□□□	2.2	▲ 2.2	0.1	2.7	1.8
□□	▲ 12.2	▲ 4.3	4.8	11.3	8.0	□□□	▲ 5.8	▲ 4.8	▲ 2.9	▲ 0.2	▲ 0.7
□□	▲ 6.5	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 1.5	▲ 1.6	□□□	2.9	1.0	3.3	3.7	0.1
□□	▲ 7.9	▲ 1.7	0.6	1.6	2.3	□□□	▲ 2.8	▲ 2.8	1.9	15.0	10.4
□□□	▲ 10.4	▲ 6.8	▲ 0.8	4.2	3.7	□□□	▲ 0.3	0.6	▲ 0.9	0.5	0.3
□□	▲ 15.5	1.4	6.6	13.4	16.1	□□□	10.2	1.1	▲ 0.7	▲ 0.8	1.2
□□□	▲ 9.2	0.4	▲ 2.1	1.6	2.8	□□□	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 2.0	2.5
□□□	▲ 11.6	▲ 3.5	0.6	1.0	1.2	□□□	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 3.6	▲ 4.0	▲ 4.3
□□□	▲ 6.0	▲ 5.1	1.5	4.0	5.0	□□□	▲ 2.7	▲ 5.8	1.1	2.8	4.7
□□□	▲ 0.6	▲ 2.4	0.8	2.3	▲ 1.7	□□□	2.8	▲ 1.8	4.2	7.2	5.1
□□	▲ 5.1	▲ 4.4	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 4.2	□□□	3.1	1.0	▲ 0.2	0.8	▲ 1.6
□□	▲ 9.6	▲ 10.3	▲ 5.1	▲ 2.5	▲ 2.6	□□□	7.6	3.1	▲ 0.5	▲ 0.4	1.1
□□□	▲ 0.4	0.0	3.7	3.6	2.5	□□□□	8.3	9.3	3.8	2.2	0.5
□□	4.5	8.4	2.5	6.9	5.2	□□□	6.2	5.1	5.4	10.9	5.8
□□□	▲ 9.2	▲ 6.7	▲ 1.4	0.2	0.3	□□□	0.4	▲ 4.2	▲ 5.9	▲ 3.7	▲ 4.0
□□□	2.0	4.7	▲ 1.0	▲ 1.7	0.1	□□□	2.7	▲ 0.8	0.2	▲ 1.7	▲ 0.6
□□□	2.7	0.5	▲ 0.4	0.9	▲ 0.5	□□□	27.8	26.5	14.9	8.2	6.9
□□□	4.6	1.5	2.6	1.8	0.8	□□□	1.7	▲ 1.6	▲ 2.9	1.3	▲ 2.2
□□□	▲ 0.1	1.3	1.6	3.1	1.0	□□□	1.7	4.0	▲ 0.4	0.1	▲ 1.6
□□□	1.7	0.2	▲ 1.1	1.9	▲ 1.2	□□□	▲ 3.0	▲ 2.8	▲ 5.1	5.0	0.2
□□□	9.8	2.0	2.4	3.0	▲ 2.6	□□□□□	▲ 4.3	▲ 0.3	▲ 0.1	3.3	3.3
□□□□	1.7	1.3	0.7	1.6	0.6	□□□	6.3	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.1
□□□	0.2	▲ 0.4	0.8	0.1	0.7	□□□□	32.7	25.8	19.6	4.8	1.9
□□□	10.0	▲ 0.3	▲ 1.5	▲ 0.9	▲ 4.1	□□□	1.4	2.5	2.3	0.5	0.2
□□□	▲ 1.9	▲ 3.8	3.0	1.3	▲ 2.0	□□□□	16.0	13.6	4.2	17.5	15.6
□□□	▲ 0.6	0.6	2.0	0.8	1.1						6

【人口千人あたり転入超過者数 ～ 愛知県町村および岐阜・三重の一部（5年間平均）】

	1990	1995	2000	2005	2010		1990	1995	2000	2005	2010
	□ 1994	□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014		□ 1994	□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014
□□□	7.2	17.6	6.7	3.5	3.0	□□□	▲ 4.6	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 1.3	0.1
□□□	▲ 2.7	▲ 12.2	▲ 1.3	6.4	5.1	□□□	▲ 3.7	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 0.9	0.1
□□□	9.3	9.5	1.5	3.9	3.9	□□□	8.3	5.7	2.3	2.6	4.0
□□□	2.6	5.3	1.0	2.6	1.8	□□□□	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 1.2	▲ 0.7	0.3
□□□	10.5	9.8	2.7	▲ 0.1	5.3	□□□	11.5	5.5	1.5	▲ 1.0	▲ 1.0
□□□	2.6	▲ 4.5	▲ 2.7	▲ 2.5	0.2	□□□□	9.5	1.8	▲ 3.0	▲ 2.1	▲ 2.5
□□□	1.6	▲ 1.1	▲ 0.6	7.3	7.3	□□□	▲ 1.4	▲ 6.7	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 2.6
□□□□	▲ 2.6	▲ 2.5	1.6	4.6	16.9	□□□	▲ 2.7	4.5	▲ 3.9	1.0	4.7
□□□	3.7	6.7	6.7	2.2	1.2	□□□	▲ 8.4	1.6	▲ 0.2	0.0	1.8
□□□□	▲ 8.4	▲ 9.4	▲ 8.7	▲ 7.8	▲ 8.1	□□□□	2.7	▲ 1.3	▲ 0.9	1.1	0.1
□□□	9.1	▲ 0.3	▲ 2.9	▲ 3.2	▲ 3.9	□□□	3.6	5.5	▲ 1.0	1.7	2.4
□□□	▲ 1.3	2.1	0.1	2.6	1.0	□□□□	6.2	▲ 0.8	▲ 0.0	1.3	2.1
□□□	5.9	▲ 3.3	3.2	6.8	7.3	□□□	2.6	0.5	▲ 6.1	▲ 3.7	0.4
□□□	▲ 5.7	▲ 8.6	▲ 8.4	▲ 5.1	▲ 12.5	□□□	11.8	12.9	3.8	5.7	5.6
□□□	▲ 6.0	▲ 4.5	▲ 5.8	▲ 11.5	▲ 2.3	□□□	▲ 3.9	▲ 9.5	1.7	52.2	8.1
□□□	▲ 9.2	▲ 6.7	▲ 9.6	▲ 15.6	▲ 6.6	□□□	3.9	10.8	9.1	7.2	6.7

(注)2012までは年度、2013から暦年。2012.7.9以降外国人を含む。合併市町村の合併前のデータは合併市町村を合算して計算。

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」をもとに作成

【愛知県内全市町村の納税義務者一人当たりの市町村税課税対象所得水準（5年間平均）】

	1995	2000	2005	2010		1995	2000	2005	2010
	□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014		□ 1999	□ 2004	□ 2009	□ 2014
愛知県	100.0	100.0	100.0	100.0	□ □ □	93.8	93.2	91.5	90.4
名古屋市	105.0	104.2	105.1	107.1	□ □ □	101.4	100.4	100.8	98.2
□ □ □	94.6	94.8	94.1	94.5	□ □ □	120.2	117.6	117.6	116.2
□ □ □	101.8	103.4	103.9	102.2	□ □ □	88.7	90.1	88.1	89.2
□ □ □	91.4	91.1	90.1	91.1	□ □ □	93.0	91.1	89.0	88.0
□ □ □	96.3	95.8	92.7	92.0	□ □ □	95.4	93.4	91.9	92.3
□ □ □	97.6	98.9	98.8	98.6	□ □ □ □ □	95.3	93.3	91.9	92.2
□ □ □ □	102.5	99.5	97.3	96.7	□ □ □	94.0	92.0	90.8	91.1
□ □ □	91.3	90.7	90.0	89.5	□ □ □ □	107.1	113.9	119.1	117.3
□ □ □	95.1	92.7	90.7	89.7	□ □ □	93.1	90.6	89.6	88.4
□ □ □	96.5	97.2	97.9	96.1	□ □ □ □	115.8	114.4	114.5	117.2
□ □ □	102.2	105.8	109.2	107.6	□ □ □	111.1	108.5	107.6	105.0
□ □ □	105.0	108.7	108.4	104.0	□ □ □	92.6	91.6	87.6	87.3
□ □ □	99.3	102.1	105.2	104.6	□ □ □	91.3	91.3	93.1	92.1
□ □ □	96.0	97.9	98.0	96.7	□ □ □	94.6	93.1	92.1	91.5
□ □ □	88.0	88.4	87.8	88.6	□ □ □	93.7	91.3	90.5	88.5
□ □ □	98.8	95.8	92.6	90.8	□ □ □	97.8	95.9	93.8	93.0
□ □ □	90.1	93.1	87.8	86.9	□ □ □	98.9	97.8	97.6	99.1
□ □ □	94.0	93.6	92.3	91.4	□ □ □ □	100.0	100.2	97.9	96.2
□ □ □	99.6	97.5	95.8	94.1	□ □ □	99.9	100.5	101.2	99.0
□ □ □	95.5	94.6	92.9	92.7	□ □ □ □	84.3	86.3	83.0	83.6
□ □ □	88.8	88.6	85.7	83.9	□ □ □	92.7	94.9	91.4	89.7
□ □ □	93.9	94.2	96.7	97.0	□ □ □	93.3	94.2	93.9	92.1
□ □ □	99.6	100.8	102.7	102.7	□ □ □	94.3	97.9	99.1	97.7
□ □ □	100.6	98.2	97.3	96.1	□ □ □	86.7	87.8	79.3	79.8
□ □ □	100.4	102.2	103.7	101.6	□ □ □	82.6	81.9	75.9	74.9
□ □ □ □	107.6	104.9	102.1	101.0	□ □ □	85.9	87.6	80.0	77.8
□ □ □	91.6	93.8	95.4	95.3					

(注) 数字は愛知県平均=100とした指数。

市町村税は前年所得への課税なので実際には対象期間の1年前の所得水準を表す。合併市町村の合併前のデータは合併市町村を合算して計算。総務省「市町村税課税状況等の調」をもとに作成

＜参考＞ 最近3年間の西三河9市の人口純移動(2011/10～2014/9)

【豊田市】

県内計	-6,174
名古屋市	-1,288
みよし市	-998
日進市	-990
岡崎市	-906
長久手市	-397
知立市	-359
瀬戸市	-336
東郷町	-266
安城市	-225
豊明市	-201
刈谷市	-172
田原市	-110
大府市	-76
西尾市	-60
碧南市	-21
高浜市	3
県外計	560
国外	-2,599

【岡崎市】

県内計	40
名古屋市	-682
幸田町	-286
西尾市	-124
高浜市	-55
知立市	-50
みよし市	0
碧南市	47
蒲郡市	91
刈谷市	199
豊橋市	209
安城市	259
豊田市	882
県外移動計	330
国外	-362

【刈谷市】

県内計	-2,336
名古屋市	-593
東浦町	-319
安城市	-313
大府市	-262
豊明市	-234
岡崎市	-204
高浜市	-181
西尾市	-122
幸田町	-70
みよし市	-41
碧南市	49
知立市	90
豊田市	164
県外移動計	3,152
国外	235
不詳	55

【安城市】

県内計	-249
西尾市	-357
岡崎市	-259
名古屋市	-214
大府市	-120
高浜市	-78
東浦町	-72
豊明市	-51
阿久比町	-43
日進市	-42
幸田町	-35
みよし市	-1
碧南市	38
豊田市	217
刈谷市	300
知立市	406
県外移動計	2,105
国外	264
不詳	-1

名古屋圏の地域戦略に大きな意味を持つ 「リニア以外の交通インフラ整備」がもたらす変化

①「空港」の変化 「今後の大都市戦略には国際空港の利便性が一層重要に

- ・羽田が名古屋圏からフルに使える空港に
- ・セントレアも「首都圏の第三空港」として路線網が充実
- ・名古屋圏の産業振興や訪日観光拡大には極めて大きなプラスに

②「高速道路」の変化 「名古屋圏全体へのリニアインパクトの波及には必須

- ・名駅への高速直結が実現すれば名古屋都市圏へのインパクトは極めて大きい
→ 豊田市など東海環状道沿線をはじめ、みよし市、小牧市といった距離の割に名駅に不便な自治体に大きなメリット

実現性は五分五分。ポイントは名鉄、名古屋高速(県と名古屋市)、国など関係者の費用負担調整



③「新幹線」の変化 「リニア効果が見えにくい西三河・東三河に大きな影響

- ・予想される東海道新幹線の「在来線化」(各駅停車 & 運賃低下)による近距離移動の増加 → 三河安城や豊橋と名古屋との間の通勤・通学利用の拡がり

リニアで「浮かぶ街、沈む街」はどこか

名古屋市内

市内については基本線として「東高西低」は変わらない

名駅・・・商業施設・高度オフィスは「JR桜通口300m圏」だけに集中
住宅は名駅徒歩圏でのファミリー向けは困難(学区の問題)

栄・・・オフィス街としての衰退は不可避

利便性、地盤の強さ、ブランド性は魅力高い。学区に問題がないエリアでは住宅地として発展可能性大(リニアが開業すると東京1時間圏)

金山・・・圧倒的利便性を武器に大化けの可能性(アスナル&市民会館の再開発)

名古屋近郊

ポイントは「名駅への便利さ」と「近隣ライバル都市との相対比較」

「名駅15分圏」(一宮、稲沢、北名古屋、大府、東海など)に大きなチャンス

尾張東部は、長久手は大丈夫だが、日進、東郷、尾張旭あたりには逆風

尾張西部は、全般に厳しいが蟹江は孤軍奮闘

尾張北部の犬山線沿線は、名駅に近い順に勝敗が分かれる(北名古屋>岩倉>江南)

西三河

住宅地としては、刈谷、安城に加えて、三河線(知立～豊田市南部)と新幹線三河安城駅周辺に注目

刈谷・安城・知立・・・駅(特にJR)周辺はまだまだ伸びる

豊田・・・成長性は「三河線>豊田線」に変化／足助など中山間地居住も広がる

岡崎・・・名駅への便利さで刈谷・安城に劣るため住宅地として決め手に欠ける
豊田市通勤者を取り込み続けられるかがカギ

三河安城駅周辺・・・「新幹線の在来線化」(名古屋へ10分)で局地的に発展

その他の地域

東三河・・・「新幹線の在来線化」で**豊橋**に変化(名古屋24分・浜松12分で往来増加)

岐阜県・・・東海道線では岐阜(岐阜駅・西岐阜駅)、中央線では多治見駅への集中が加速

三重県・・・県内では直接プラスの影響を受けるのは桑名だけでは

リニアができるるとどんな変化が起こるか**冷静に見通すことが重要**